

令和元年度第6回小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：令和元年10月24日（木）
午後3時00分～5時00分
2 場 所：浮舟文化会館 研修室

●小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：10人（欠席委員5人）

【出席委員名】

林 勝典 会長、	渡部 義則 委員、
橘 由美子 委員、	今村 秀身 委員、
本田 博信 委員、	田中 由里子 委員、
堀内 洋伯 委員、	飯塚 宏 委員、
杉 重典 委員、	小林 友子 委員

【説明職員等】

小高区役所長	山田 利廣
小高区地域振興課長	上野 勝
小高区地域振興課自治振興担当係長	天野 徳
小高区地域振興課主事	鶏徳 浩司（書記）
小高区市民総合サービス課長	渡辺 和宣
経済部鹿島区農林水産担当課長	小林 謙一
経済部農政課再生係主事	藤田 健宏
教育委員会事務局教育企画担当課長	佐藤 克巳
教育委員会事務局 学校教育課教育企画係主査	郡 亮二

1. 開 会

○事務局

委員15人中、10人の出席ということで、過半数を超えておりますので、協議書10（2）により、本日の会議は成立しております。

2. 会長挨拶

○会長

（林会長 挨拶）

○事務局

協議書10（1）により、会議の進行は、会長が行うこととなります。林会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

3. 議事

（1）会議録署名人の指名

○会長

会議録署名人は、今村秀身 委員、本田博信 委員の2名にお願いします。

（2）報告事項

報告事項①「南相馬市角川原総合研修センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例等の制定及び財産を処分する件について」

○会長

次に、報告事項①を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

（農政課 説明）

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があればお願いします。

○今村委員

「パブリックコメントの実施」の項目に「意見総数0件」となっているが、地域協議会委員は別途意見を求められて提出しているの、それも反映してほしい。

○事務局

ここはパブリックコメントの件数で、委員への回答は事務局から送付させていただきました。

○会長

それ以外の質問はありませんか。それでは報告事項①を終了します。

報告事項②「小高区内学校適正化の進捗状況等について」

○会長

次に、報告事項②を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

(学校教育課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があればお願いします。

○今村委員

学校統合準備協議会（仮称）を設置して名称や校歌を検討するとありますが、旧校舎の活用など具体的なことも協議するのでしょうか。また、小学1年生が長距離を歩いて登校するのは無理があると思いますが、これらも協議されるのでしょうか。

○学校教育課

校舎ですが、これまでの懇談会でも意見がありましたが、廃校になる校舎を具体的にどのように活用するかまでは議論に至っておりません。それぞれの校舎によって状況が異なりますので、地域の皆さんのご意見をいただき、全市的な行政需要を踏まえたうえで、全庁的な観点により総合的に判断することになります。

スクールバスについても対応をどうするのか学校統合準備協議会の中で議論をしてみたいです。

○会長

それ以外の質問はありませんか。それでは報告事項②を終了します。

4. その他

① 次回会議開催について

○会長

次に、『次回会議開催について』を議題といたします。

第7回として11月 6日(水)午後 3時 区役所会議室、

第8回として11月26日(火)午前10時 浮舟文化会館

を予定しております。

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

○所長

前回の会議で、太陽光発電協力金等の市の収入はいくらなのかと質問がありましたので説明いたします。なお本年度の当初予算の段階です。

今年度ですが、市有地地代が約1億2400万円、地域協力金が約1億円、計2億2400万円を見込んでおります。これが12年間継続しますので約26億円の収入となります。

市はこの原資と東日本大震災復旧復興基金を再編して約40億円を原資とし、合わせて約42億2000万円の「未来へつなぐ復興基金」を設立しました。この基金を目的に沿って利用します。

使える目的が、①教育・子育てに関する事業、②地域医療・健康づくりに関する事業、③産業振興に関する事業、④震災後に整備した公共施設の維持管理補修の財源、⑤その他 となります。基金の取り崩しには議会の議決が必要です。

主な事業について、①在宅保育支援金に約7千万円、②地域医療提供体制整備事業補助金に約5千万円、③多様な担い手育成事業補助金に約700万円、④街なかにぎわい創出事業(小高交流センター)約420万円、小高ストア運営補助金に約190万円となっており、毎年度事業の財源として活用しております。

○小林委員

山砂を採取した後の整備には使えないのですか

○事務局

後の整備は事業者に指導している。

○今村委員

田んぼは除染しているが、県管理の河川の除染と整備をしてもらいたい。河川の水門と排出口に土砂がたまっている状態です。

○会長

事務局と内容を整理して、地域協議会として要望書を出すなどの対応を検討したい。

○渡部委員

台風の被害で、舗装されていない農道が通れない箇所があります。可能な部分は自分たちで砂利などを購入し、補修をしたいがシステムがない。

○所長

以前は資材を提供して各行政区にお願いしたこともありますが、現行ではそのような制度はないと思います。今後のことも考えて検討してまいります。

○会長

それ以外の質問はありませんか。なければ以上をもって、本日の会議を終了いたします。

5. 閉 会

令和元年度第6回小高区地域協議会会議録

会議録署名人 水田博信

会議録署名人 今村秀身